

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	思春期保健連絡会の設置						掲載ページ
							68
コスト	事業費	平成26年度執行額 2,426 千円 <small>「思春期保健連絡会」事業の総額 本事業はその一部</small>	平成27年度予算額 3,605 千円 <small>「思春期保健連絡会」事業の総額 本事業はその一部</small>	政策分野 施策名	安心して生み育てることができる環境づくり 母子保健	担当局 担当課	子ども家庭局 子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	思春期の心身の変化を正しく理解し、自分自身の心と体を大切に健康教育を推進するため、医療・学校・地域・行政等の関係者による連絡会を開催し、現状の把握や課題の共有および連携強化を図るとともに、思春期保健の対策等について協議します。協議の結果等を踏まえ、思春期の健康教育を効果的に実施します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	思春期の子ども課題を共有し、健康教育を推進するために、医療・保健・教育等の思春期保健関係者による連絡会を開催します。また、小中学校を対象に思春期健康教室を実施します。					
活動指標	指標 <small>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)</small>	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	思春期保健連絡会の開催 思春期保健連絡会を開催し、関係者の連携を強化します。思春期保健の課題を共有し、効果的に健康教育を推進するのに重要なことから指標としました。 <small>(最終目標と最終年度)</small>	6 回	適切な開催	1 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	思春期健康教室の開催 小・中学校における健康教室の実施による知識の普及啓発、課題の共有が必要なことから、指標としました。 <small>(最終目標と最終年度)</small>	77 回	適切な実施	89 回	順調 やや遅れ 遅れ	大変順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	思春期保健連絡会の開催回数は前年度から減少しましたが、連携強化のための会議は適切に開催できています。また、小中学校を対象とした思春期健康教室は好評で、開催回数も増えたことから、大変順調としました。また、前年度作成した保護者向けの「北九州市の思春期の子どもを知るためのファクトシート」とその解説本について、学校や保護者へ周知しました。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	様々な関係機関と連携強化を図ることで、思春期健康教室の実施を推進しており、事業を効果的に実施できています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

助産師による小中学生を対象とした思春期健康教室を確実に実施し、効果的な思春期の心とからだの健康教育を推進します。あわせて、北九州市の思春期の子どもの実態に基づいたファクトシートを利用して、引き続き保護者に対する啓発や支援体制の検討を行い、思春期の課題解決に取り組みます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	思春期健康づくり事業						掲載ページ
							68
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,426 千円 <small>「思春期保健連絡会」事業の総額 本事業はその一部</small>	3,605 千円 <small>「思春期保健連絡会」事業の総額 本事業はその一部</small>	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	思春期の子どもとその保護者を対象にして、生命の尊さを学ぶことを通じて、健全な子どもの心と体の発達を促すことを目指します。 学校教育や地域との連携を図り、子育て体験学習、性教育などの機会を通じて、健康、性、心の問題などについて幅広い知識の普及を図ります。							
活動計画	思春期の子どもたちが健やかに成長できるよう、今後も学校や地域関係者と連携しながら、健康教育を実施していきます。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。					
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】			
	思春期の健康に関する教室・講演会等実施回数	18 回	適切な実施	16 回		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
	地域における思春期保健における課題を共有し、健康教育に関する教室等を実施することで、健康や性に関する知識の提供につながることから、活動指標としました。 <small>（最終目標と最終年度）</small>					大変順調	順調		
	<small>（最終目標と最終年度）</small>					やや遅れ	遅れ	順調	

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	学校と連携し、思春期の子どもとその親に対して、健康や性に関する知識の提供を行いました。思春期健康教室は小中学校を対象として実施していますが、この事業では小学生から高校生まで対象としており、性感染症や避妊についても啓発しています。前年度より微減の実施状況ではありますが、適切な実施ができており順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	思春期の問題が顕在化していることから、健康や性に関して知識の提供を効果的に行うため、健康教育を実施することは重要であり、かつ、医師や助産師等の専門職による実施も重要です。小学校区を担当する保健師が関係機関と連携し、実施していることから、市の関与が必要です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

思春期保健連絡会と連携して、より効果的に実施していきます。
